

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後縫合不全の実態調査』

研究機関名 東邦大学医療センター佐倉病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 大城 崇司

【研究の目的】

東邦大学医療センター佐倉病院外科では、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の合併症である縫合不全の発生頻度とリスクを明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の縫合不全の発症予防につながることを期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター佐倉病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2010年1月～2022年9月までに東邦大学医療センター佐倉病院外科と協力研究機関において腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の手術を受けた方となります。

方法は研究担当者が診療録(カルテ)から抽出したデータを集積し、解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

抽出される情報としては病歴、検査結果、診療の経過、治療歴等です。新たに追加される検査等はありません。また本研究では試料の提供はございません。

【外部への試料・情報の提供】

該当ありません。

【外部からの試料・情報の提供】

協力研究機関(ページ末に記載)の研究責任者が、対象者の情報をアンケート調査用紙に記載し、情報を提供します。提供する際には患者情報は特定の個人を識別することができないように匿名化されます。

【研究に用いられる試料・情報を利用する者】

取得した情報を収集し解析するのは、東邦大学医療センター佐倉病院外科医員です。協力研究機関の研究責任者は情報を収集します。

本研究では試料の使用はございません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター 佐倉病院

研究代表医師: 大城 崇司 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して

管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

社会医療法人誠光会淡海医療センター 肥満症外科治療センター

郵便番号 525-8585 滋賀県草津市矢橋町1660 電話番号:077-563-8866

研究責任者: 戸川 剛

《協力医療機関及び責任者》全12施設

1. 岩手医科大学外科学講座 外科 講師 梅邑 章
2. 四谷メディカルキューブ 減量・糖尿病外科センター 関 洋介
3. 長崎大学病院 消化器外科 教授 金高 賢悟
4. 公立学校共済組合関東中央病院 外科 医長 叶多 寿史
5. 岡崎市民病院 内視鏡外科 内視鏡外科 統括部長 石山 聡治
6. 名古屋市立大学病院 消化器外科 瀧口 修司
7. 淡海医療センター 肥満症外科治療センター センター長 戸川 剛
8. 滋賀医科大学外科学講座 講師 山口剛
9. 大阪大学消化器外科学 助教 西塔拓郎
10. 東京都立多摩総合医療センター外科 医長 畑尾史彦
11. 富士市立中央病院 外科 副部長 坪井 一人
12. 九州大学病院 先端医工学診療部 助教 長尾 吉泰